

## 受電用真空遮断器動作不良の対応

(緊急復旧工事手法の事例)

【対応する】

### 【内容】

- ・受電用真空遮断器の投入・引き出しがスイッチにて出来ないことが判明し、調査を実施

### 【状況】

- ・受電不可能な状況

### 【調査の経過】

- ①真空遮断器のスイッチ操作を実施  
→入切操作ができない状態を確認
- ②真空遮断器にかかる各部位の点検の実施  
→異常がないことを確認
- ③真空遮断器の強制投入ボタン・強制引き出しボタンの操作を実施  
→強制ボタンでの入切は可能であることを確認
- ④地絡方向継電器と過電流継電器にて、故障時トリップ試験を実施  
→真空遮断器が切にならないことを確認

### 【調査の結果】

- ・強制的でないでスイッチの入切が不可能な状況
- ・地絡故障発生時や、過電流故障発生時に遮断器が切れない状況
- ・関西電力株式会社への波及事故につながる可能性があるため、早急な修理が必要

### 【対応】

- ・直営にて修理ができないので、外注することとなるが、工場持ち帰りの修理が多く、その場合修理費が高額となる。
- ・今後、故障箇所を確定するための再調査を行い、現地修理が可能かの確認を行っていく。

■ 高圧受変電設備



■ 受電用遮断器



遮断器格納場所